

国語 第1学年 ことばって、おもしろいな

検討会の想定問答

指摘 1：この単元で身に付けることは何か。

返し：身近な物の実際の名前と、まとめて呼ぶ名前の違いに気付き、買い手と売り手のやり取りで使い分ける。名前を言うと相手が物を選べることと、まとめる名前で仲間を表せることを確かめる。A(1)オの学習として、名前の仲間分けカードとやり取りの振り返り。まとめた名前と個々の名前の置き場所を変えて関係を示す。

指摘 2：何をもって学習できたと判断するか。

返し：おおむね満足できる状況は、注文を受けた人が選べるように物の名前を言い直し、尋ねられたことを受けて応答しているという姿で捉える。語句や本文を示さず結論だけ述べる場合は、根拠を確かめる支援を行う。発言の回数や記述の長さでは判定しない。A(1)オの姿を本時の発言と記録に照らす。

指摘 3：活動が楽しいだけで終わらないか。

返し：名前の仲間分けカードとやり取りの振り返りを残す。まとめた名前と個々の名前の置き場所を変えて関係を示す。活動後に、どの言葉を根拠にしたかを確認することで、A(1)オに関わる学習の中身を確認する。

指摘 4：難しさのある児童にはどんな支援をするか。

返し：物の色だけで仲間分けする。大きい物の名前を「まとめた名前」と考える。お店遊びの装飾に時間を使い、言葉を使う場面が少なくなる。これについて、実物や教師作成の絵を並べ、上にまとめた名前、下に個々の名前を置く。言葉が出ない児童はカードを示してから声に出す。分類の基準が違う場合は理由を聞き、扱う名前の関係を確認する。〔知識及び技能〕(1)アとA(1)オを切り離さず扱う。

指摘 5：考えが違ったときはどう扱うか。

返し：教師の結論を選ばせず、「まとめた名前だけで、ほしい物が相手に伝わりますか。どんな名前を言い直すと選んでもらえますか」に戻す。言葉や本文で確かめられる点と、個人の感じ方を分け、A(1)オに関わる根拠を話し合う。

指摘 6：本時の評価で態度まで決められるか。

返し：本時の参加の様子だけでは決めない。学年の目標(3)を受け、単元を通した記録と見直しの理由を合わせて判断する。発言の多さや従順さを態度の評価にしない。

指摘 7：端末がない学級でもできるか。

返し：名前の仲間分けカードとやり取りの振り返りは紙に記録できる。まとめた名前と個々の名前の置き場所を変えて関係を示す。端末があれば書き直し前後を保存して比較する。道具の操作をA(1)オの評価の代わりにしない。

指摘 8：時間が足りないとき、どこを残すか。

返し：総時数の出典は光村図書出版の年間指導計画である。活動量を調整する場合も、本時の問いを自分で考える場面と、根拠を比べて記録を見直す場面は残す。A(1)オで目指す姿が確認できるように配当を組み直す。

指摘 9：お店遊びが目的にならないか。

返し：〔知識及び技能〕(1)アを中心に、名前の具体さによって注文を受けた人が選べる物が変わる場面を作る。追加するA(1)オはやり取りの観察に使い、売れた量や店の見栄えは評価しない。

指摘 10：振り返りを感想だけにしないためには。

返し：「まとめた名前だけで、ほしい物が相手に伝わりますか。どんな名前を言い直すと選んでもらえますか」への答えを学習前後で読み比べる。変えた点に加え、理由を確かめて残した点も書く。A(1)オに関わる言葉の捉え方・使い方を記録する。

AIが作成した授業案です。授業での検証は未実施です。自校の教材・年間計画・学級の実態に合わせて確認してください。



Threads「三重でAI使うなら」(@mie_ai_katsuyo)
https://www.threads.com/@mie_ai_katsuyo

LINEオープンチャット
みえ先生ラボ

